

10万人の

選挙

市議会議員原八郎

平成二十年度予算案

全会派が否決三月二十一日

臨時議会 修正予算案

賛成多数で可決

予算特別委員会 子供 高齢者に

配慮なし 行革の方向に誤りあり。

市民へ夢と希望を持たせるべき。

温かみのある政策をと市長に猛省

促す。数字合わせ予算組への反発。

人件費 委託料 見直し、二十数項

目クレーム 修正予算作成必至。

三月二十八日臨時議会招集

予算特別委員会で修正案審議し、

懸案事項の修正を審議し、可決。

付帯決議 一項目を付け決着

高齢者や子供たちへの思いやり

予算 おおむね復活。

今後 議会と事前に協議し政策

を実行することを確認し、閉会。

復活個別項目は最下段参照

原八郎政策提案採用決定

一般質問の成果 三月議会

給食費不納欠損解消策

未納保護者に簡易訴訟起こす。

二年間で時効、毎年二百数十万

円時効処理。給食費滞納額千二

百二十万円 (昨年六月現在)二百

六十世帯。千葉県で初の試み。

三月七日、九世帯、百二十六万

円督促、提訴。改善に望みあり。

教材費未納問題苦悩 これも

簡易訴訟を起こしたらと提言。

税収のあり方について

税の構成割合を問う。

住民税に偏りあり、固定資産税

や法人事業税の増税策を指さ

なければ健全財政は望めない。

調整区域の部分的見直しをして

でも企業誘致をすべきと提言。

市庁舎の電気量の

節約策についての提案

ペット樹脂を発砲させたものに特

殊塗料を塗布した「NCPEET」が

発明されました。従来より四割

照度が増し、蛍光灯本数を三分

の一減らしても明るさが増大。

一年で償却できる低価格。電気

庁舎内に市民ポスト

設置提案 今年度中設置決定

市民よりの役所への返信用郵便

物特にアンケート等)を役所又

は、近くに来たついでに、直接市

庁舎に設置したポストに投函。

切手代、はがき代の節約となる。

市民の協力をお願いします。

市民協働事業の今後

推進状況と今後の事業を問う。

具体的事業を市民に協力を要請

事業を絞り込み広報等を通じ、

具体的事業を市民の皆様にご協力

を呼びかけて行くこととする。

皆様の協力をお願いします。

市政報告会のお知らせ

四月二十六日(土)午前10時より

中央公民館三階 学習室

議会報告 一般質問 意見交換

総務常任委員会委員長 原八郎

どなたでも参加歓迎です。

平成二十年度予算

修正項目

徹底した行革を行った上で「今年のみな

らず、二年後、三年後、将来にわたって

も財政赤字を出さない」ことを主眼とし

た予算中での修正。「福祉と教育」充実

に、可能な限り配慮したものとなる。

「庁舎の昼間の警備委託」「敬老祝金」復

活し従来どおり実施。「ほりきゆうま

ッサー」等施設料助成金」対象年齢と助

成金額を見直し継続。「市民夏祭り実行

委員会負担金」「敬老会奨励金」額を見

直し継続。

「中学生ワカタネ派遣事業」継続。

「小中学校卒業記念品」は内容を見直し

て継続。「中学校体育優秀選手派遣助成

金」や「生涯入水」ツ振興助成金」増額修

正。「体育施設修理代」事実上確保。

一方、学校給食センター建替事業の

「PFI可能性調査委託」は、更なる内容

精査を行うこととし、予算計上を取り

やめ、四百五十万円減額。

増額分は予備費より調整し、修正案を

可決。臨時議会、夜八時終了。

付帯決議 一項目付けて決着

乳児 児童期の

育て方の重要性

脳の発達過程で0歳児より就学前までの成長が、その子の人生に大きな影響をもたらします。

誕生時の赤ちゃんの脳の重さは平均三百五十グラムです。三歳頃までに千二百グラムまで発達します。大人は千五百グラムです。抱きしめ、手を抜かず、愛情を傾け、語りかけ大事スキンシップを大切にしてください。子供を犠牲にはなりません。愛情いっぱい育ててください。『三つ子の魂百まで』です。

予防医療 予防介護

キャンペーン

高齢化が進む鎌ヶ谷市で、寝たきりを一人でも少なくする運動を行う政も民間ボランティア団体も行っていきます。閉じこもらないで、積極的に外に出かけましょう。友達を作り、話をし、体を動かしましょう。日常生活の暮らし方により、健康に影響が出ます。外に出よう。

物忘れが気に

なりませんか。

冷蔵庫を開けて何を取ろうとしたのかな。この部屋に何しに来たのかな。などの物忘れはありませんか。度重なる要注意。認知症に近づいていますよ。今すぐに、脳トレいきいきサロンに参加し、予防しましょう。

脳トレいきいきサロン

四月金曜教室新規開設

栗野コミセン午後、鎌ヶ谷橋自治会館グリーンハイツ地区)午前。四月より同時開設。参加者募集中

物忘れ予防のためのサロン

簡単な「読み書き 計算 数字盤」を主体と「コミュニケーション」を交え、サポーターと楽しいひと時を過ごす。生活に張りを持たせ、いきいき暮らすために、参加してみませんか。

火曜教室 南初富コミュニティセン

ター 午前十時より

木曜教室 中央公民館

四階学習室 午後一時半より

物忘れ予防のための教室です。参加費用二千円 お待ちしています。月に教材約百八十枚使用。

申込み 学習療法普及会 電話又は

FAXで 小林 四四三 二五一七

原 四四五 二四六六)まで

介護疲れによる事件続発

昨春秋以降介護疲れによる殺人事件が多発しています。大半が認知症患者の介護疲れによる事件です。期限の無い介護、家族の疲労も極限にきています。相談に乗ってくれる、又は話を聞いてくれる、それだけでも救われるのです。認知症の人と家族の会」に相談を。

医師会の認知症に対する対応

治らない病、誰もがいすれかかる病。やって進行を遅らせることが薬によって可能になったとの認識です。

専門医が少なく、正しい診断がされる可能性が少なく、間違った処方での悪化してしまつ事例が多々あります。専門医を探して受診しましょう。

専門医を探して受診しましょう。

歩み「原八郎のルーツ 第十回

北海道層雲峡でレンタサイクルの

営業中の出来事を紹介いたします。

昭和四十一年七月一日開業。最初のお客様は埼玉県加須市役所を定年になり、のんびり独り旅の男性でした。

旅行者に言はれ大人気となる。

一週間経った日、九州で層雲峡へ行ったら貸自転車に乗ったらいよいよと進められてきました。とお客あり。

口コミの凄さを実感。この年八月盛況で自転車が目子、一番長く待って乗っていただいたお客様は実践女子大学の学生四人組、四時間半、よく待っていただけました。個人の旅行者主体の時代でした。春や秋の一人旅の中に、失恋や、失業、病気等で悩みを持って北海道へやってきた旅人が沢山いました。中には夫婦もいました。店で何気なく声を掛けて話を聞いてやることもしばしばありました。死に場所を求めている北海道への旅人が毎年数人いました。数週間後、元氣を取り戻しましたとの手紙を十数通頂きました。

原八郎後援会事務局

鎌ヶ谷市道野辺本町一・十一・八

電話 445-3466

政策議論をしませんか。

